第 2018-28 号

恵みと真理のニュース

2018 年 7 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

二回の係留流産の末に健康な娘を出産してまた、二番目の子を妊娠しました。私の切ない期待と希望を成し遂げてくださった神様に感謝します

私は幼い頃から母をついて市内から離れた小さい教会にかよって、小学生になってからは教会に行かなくなりました。神様の天地創造と聖書の御言葉は信じられなかったし、思春期に入ってからは母と教会の先生の関心と愛がむしろ、干渉と統制と思われ自分の心のままに生活するのが楽でした。しかし、思春期が過ぎて高校生になるといくら一生懸命勉強してもなかなか上がらない成績と将来について不安になり自殺まで考えるほど酷い憂鬱病に患いました。
その頃ここアンサンに恵みと真理教会の聖殿が建てられました。私が見てもとても大きくて美しい聖殿でした。献堂礼拝の日に母が私に一緒に行って礼拝をささげようと誘いました。嫌だと断りましたが“一度だけ”と言って私の手を強く取って頼んだから、仕方なく教会にはついて行って礼拝堂には入らないと思いました。ところが、 私が教会に入ったら1階のロビーにいた高校性が私を見て知ったかぶりをしました。私はよく知らない高校の先輩でした。まだ、中学生だと思ったのに高校生になったのかとうれしく迎えて高等部に連れて行きました。
その日、私の意志と関係なく先輩たちから導かれ礼拝に参席して説教を聴きました。驚いたのは神様を離れて久しぶりに教会で来て礼拝をささげるその時間、大きい神様の愛と恵みを感じました。神様の懐を離れて自分勝手に生きたのを悔い改める祈りをしました。成績で悩んでいてうつうだった心が礼拝を離れるときには神様の愛を賛美する喜ぶ心に変化されました。長い時間、神様が私を覚えて待たせてくださったと思いました。その後、主日礼拝をして教会学校で熱心に神様に礼拝をささげ聖書勉強をしました。そうしながら私の存在と生きる理由が神様にあることを悟りました。
神様は時によって福なる大事な出会いを与えてくださいました。高校を卒業した後、心が揺れ悩んでいるときに職場で真実な信仰を持つ先輩に出会わせてくださり、救いの確信を持つようにしてくださいました。また、恥ずかしがりで友達も付き合うこともできない憶病な性格だったので青年部の集まりと活動に参与していなかったにもかかわらず、いつも明るくて活発で積極的な青年区域長に出会わせてくださって、私の性格を変化してくださいました。そうしながら青年区域礼拝も熱心に参与してほかの青年とともに主の中で交際しながら楽しく幸せに奉仕しながら一層成熟した信仰も与えてくださいました。青年部で職分を任されて他の青年達を仕えながら祈りと集まりにもっと力を尽くすようにしてくださいました。私とともにした神様の恵みで私が驚くほど変化されました。
結婚する時期になって多くお見合いもしましたが、良い出会いは続かなかったです。真実な信仰をもった配偶者に出会うため祈りながら、努力してみましたが、39歳になっても毎度期待と失敗を繰り返しました。そうしながら、長老の紹介で今の旦那に出会いました。
同じ聖殿で教会生活をしていましたが、共に奉仕したことがない人だったが、どこかで会った気がしました。よくよく考えて見たら3年前に一回会ったことがる人でした。その時は、按手執事から紹介されました。その当時に互いに関心がなかったのですぐ別れましたが、このようにまた会うとは、驚いて、恥ずかしくてただ笑いが出ました。そのように会ってから密かに付き合っているときに今回は教会学校の先生が良い人がいると紹介してくれるとしましたが、また、その人でした。その年12月、神様の恵みで多くの人々の祝福の中で結婚しました。
遅く結婚したので早く子供を妊娠するため勤務していた会社も辞めました。そして、翌年夢にも描いた妊娠をしました。しかし、赤ちゃんの心臓の声が聞こえなくて結局、係留流産になってしまいました。心が痛くてどんなに泣いたかわからないです。手術をする日、教区伝道師に祈りを頼んで手術を受けました。あと、妊娠をしましたが、また係留流産されました。私は心と体を安定させてからはらみの福を求めました。”を主権者である神様にすべてを預けます。私の考えよりもっと大きい神様が驚くなわざを行われる。”牧師の説教を聴き感動され、落胆しなくて期待と希望をもちました 。
2016年初めの日に新年祝福聖会で私の夫婦はきれいな赤ちゃんと共に最後の日、神様に年越し礼拝をささげるように切に神様に祈りました。そして、産婦人科の難妊クリニークに通いながら休まずに祈るうちに自然妊娠をするようになりました。感謝してまた感謝しました。ハレルヤ！流産防止の脂肪注射も打たれながら神様の助けの中で妊娠初期の危ない時期をよく超えました。臨月に近くなっても金曜礼拝の聖歌隊で旦那と共に奉仕しながら賛美と祈りを休まなかったです。ついに希望を成し遂げてくださいました。最も感謝するのは手術しなくて自然分娩で生みました。回復も早かったです。産後の養生を終えて赤ちゃんを育てながら母乳を飲ませるときことに神様の恵みに感謝祈りを捧げました。今18か月になったきれいな娘のダンビちゃんを神様がよく育ててくださいます。そして、ダンビをよく育てるように必要なものを予備して与えてくださいます。だから、このすべてが神様の恵みだと言うしかありません。それだけではありません。今年、祈り課題を決めながら、ダンビに健康が弟ができるように願って祈ったら神様は恵みのうえに恵みを与えてくださり、ダンビの弟を妊娠するように導いてくださいました。恵みあふれるように与えてくださった神様に感謝をささげます。
神様の恵みを知る人々にどのように話すのが良いのかと思いましたが、このように証しするようになって最も感謝します。妊娠と出産によって私は教会学校の奉仕を休んでいます。子供たちがすくすくと育って家族が毎日家庭礼拝をささげる姿、相変わらず神様を畏れ愛する真実な青年になって私と共に教会学校で子供と学生たちを仕える姿を信仰で希望しながら神様に祈っています。神様！感謝します。すべての栄光を神様に捧げます。

[信仰コラム]　すべてのことに恵まれる

”愛する 者よ.　あなたのたましいがいつも 恵まれていると同じく,　あなたがすべてのことに 恵まれ,　またすこやかであるようにと,　わたしは 祈っている. ”（ヨハネの第三の手紙２節）

魂が恵まれる道はイエスキリストを信じること以外に人の努力が全く必要ではありません。しかし、すべてのことに恵まれて体と心が健康になるためには人の努力が必要です。すべてのことが恵まれるという意味は二種類で説明することができます。一つは、全てのことが順順に進行されて、願って計画した通りに成就されることです。もう一つは、先道に障害が発生して願った通りに進行することができず、損失と苦痛を受けるがこの全てのことが合力して最後には良い結果を得ることです。この二種類の例を聖書から探して調べてみます。
第一は、計画して願ったことがに進行されて成就された例を調べてみましょう。
アブラハムは老けると息子であるイサクの結婚を早めて、真実な老いた僕を呼んでイサクの妻を探すことを任せました。僕は”あなたはわたしの 國へ 行き, 親族の 所へ 行って,　わたしの 子 イサク のために妻をめとらなければならない”という指示を受けてメソポタミアのハランに行き、ナホルの城に至ると井戸がある所に行って神様に、水汲みに出てくる乙女に自分が飲む水を要請する時に自分だけではなく彼のらくだにも水をあげると神様が定められた人だと認知するとお祈りしました。その時 ’ リベカ ’ という名のとても美しい乙女が井戸から壷に水を満たして上ってきて、らくだにも水を飲ませました。彼はイサクの妻として適切だと判断したが、まだ確認すべきのことがありました。一、婚約しなかった乙女であるべきです。二、アブラハムの親族であるべきです。三、乙女の両親が許さなければなりません。四、その乙女がイサクと結婚すると応じるべきです。五、カナンについて行くと言わなければなりません。しかし、この全ての条件が充足されました。実に万事が良くなりました。決して容易いことではないが、アブラハムが願ってアブラハムの僕がお祈りした通りにに順順に進行されて叶えられたのは何よりも助ける神様の摂理があるべきだが、私達が見過ごしてはならないことがあります。アブラハムとアブラハムの僕が持った篤実な信仰です。そして徹底な準備と努力、そして知恵のある身持ちです。
第二は、期待することと努力することに問題が発生して苦境を経験するとしてもこの全てが合力してとうとう良い状態になった例を調べてみましょう。
ヨセフの生涯が代表的な例になります。ヨセフは父のヤコブの特別な寵愛を受けて 17 歳の時に奇異な夢の内容を兄たちに話したことで、兄たちに憎まれエジプトに行く大商達に売り渡しました。その後、ヨセフはエジプト王の警護隊長ポテパルの僕になり、誣いられて重罪人を囲う監獄に入る等の紆余曲折にエジプトの国務総理に座に至りました。
7 年の凶年が始まってヤコブの指示で糧を買うためにエジプトに来た兄たちはエジプトの総理がヨセフであることを知りました。恐れる兄たちにヨセフが話しました。”わたしをここに 賣ったのを 嘆くことも, 悔むこともいりません。神は命を救うために、あなたがたよりさきにわたしをつかわされたのです”ヨセフは彼の父親と兄弟の家族を全てエジプトに招いて飢饉を免れるようにして肥えた地に居住するようにしました。ヤコブが死ぬと自分達が過去に犯した罪によって報復を受けるのではないか心配する兄たちにヨセフが”あなたがたはわたしに 對して 惡をたくらんだが, 神はそれを 良きに 變らせて,　今日のように 多くの 民の 命を 救おうと 計らわれました。それゆえ 恐れることはいりません”と話しました。これは”神は, 神を 愛する 者たち,　すなわち,　ご計畫に 從って召された 者たちと 共に働いて,　万事を 益となるようにして 下さることを,　わたしたちは 知っている. ”という御言葉と違いありません。
イエスキリストを信じる人は魂が恵まれた人々です。従って、すべてのことが恵まれるように大胆に求めることに躊躇う理由がありません。皆さんが経営することが願う通りに順順に叶えられるように大胆に求めてください。万が一、苦境と難関に遭うと紆余曲折を通じてでも”共に働いて”とうとう良くなるよう求めてください。そして忘れてはならないことは、すべてのことがこの世で終わるのではなく、キリストの審判台の前で最終決算をするという事実です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

悪と不義な現実の信仰的な対応方法

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

この世を生きて行く時には犯罪者が繁栄して不義者が 栄えあるのを見られます。神を恐れず自分勝手に行動する者が栄えているのを見て、懐疑に陥って信仰が揺れたり、つまずき信者がたまにあります。詩篇 37 篇は、邪悪で不義で矛盾だらけのような現実を克服するための信仰的対応方法を教えています。今日は詩篇 37 編が教える信仰的な視点と対応方法を説明します。

まず、消極的な対応方法を見てみましょう。

第一は、悪をなす 者のゆえに， 心を悩ますな． 不義を 行う 者のゆえに，ねたみを 起すな． しました。

ここで不平するなという言葉は、悪を行なう者に対して不満禁止ではなく、犯罪者が悪い計画を成し遂げることによって、神に不平をしてはならないという意味です。私たちが悪を行なう者によって困難に会うことで痛みを経験すると、「神様、どうして私をこのような現実に処するのか？」という考えや言葉をしやすいです。聖徒は、このような間違った考えや話をしないようにしなければなりません

第二には、不義を行う者をねたみしないようにしました。

不義を行なう者が繁栄して栄えているのは、せんぼうすることではありません。かえってぴったりし　かわいそうに思うところです。彼らが不義を続け行われるからです。神が時にいたると彼らの不義の行為に対しては必ず裁かれます

第三には、怒りしないようにしました。

怒りとは感情上の混乱で速断と誤判をすることになる危険性があります。ヤコブの手紙に**「人の 怒りは， 神の 義を 全うするものではないからである」（ ヤコブの手紙 1:20）と**しました。ただ聖なる怒りまでの禁止ではありません

次に、積極的に対応する方法を見てみましょう。

第一は、神を依頼して、善を行いなさいと言いました。

神を依頼する言葉には頼りにして、信頼という意味があります。神が供給される知恵と力を頼って善を行うことが、神を依頼して、善を行なう態度です。悪を行なうと不義を行なう者を見たときにすくめかからないでください。むしろ神を依頼して、かえて積極的に善を行わなければなりません。

第二には、神の誠実で食べ物にするとしました。

誠実は神の属性です。神の言葉を信じて従う人は神の誠実を味わうされます。神の誠実で食べ物にします。神の言葉を黙想して認めており、信じ従うことが、神の誠実を食べ物にする行為です

第三には、主を喜ばれるようにしました。

「主によって 喜びをなせ．主はあなたの 心の 願いをかなえられる」（詩篇 37：4）しました。これは、神が私たちに恵みを下さっことを知って、これを享受できるようにという意味があります。私たちは、神の御言葉と聖霊によって、神が私たちに恵みを下さったのを知ることができます。そして、これを自分のものに受けて味わうべきです。今、その具体的な内容と方法を 見てみましょう

第一に、神が私たちに恵みを下さっものの中、私たちを救われる神の愛があります。その愛を味わうべきです。

使徒ヨハネは**「神はそのひとり 子を 賜わったほどに， この 世を 愛して 下さった． それは 御子を 信じる 者がひとりも 滅びないで， 永遠の 命を 得るためである」（ヨハネによる福音書 3:16）**と記録しました。神の愛は、すべての測りすることはできません。その愛の広さはすべての国と民族にまで及ぼします。

その愛の長さは、いつの時代にも与えます。その愛の高さはどの高い地位や尊い身分を有する者にも及ぼし、その愛の深さは、いくら皿洗いや罪の深いどろぬまに陥った人にも与えます。その大きな愛によって信じて私たちが罪から解放され、サタンの権威から解放され、真の自由を獲得しました。神の子どもになります。神はすべての人が神の愛を享受されることを望んでおられます

第二に、神が私たちに恵みで下さっものの中の神の力があります。その力を味わわなければなりません。

聖書には、神の力を積極的に享受した人々の話でいっぱいです。モーセは 80 高齢に持っているのは、杖一つしかありませんが、彼はエジプトのパロ王の前に出て行って、「神の民を出しておくれ。私たちが神を仕えるのだ。」と堂々と要求しました。まさに王は非笑ってしました。モーセはパロのその権威と力を恐れていない。それより大いなる神の力を知っていたからです。モーセは、神の力が現れることを、信仰と従順に味わいました。モーセが神の指示どおりに災いを宣言したら、その地に 10 災いが連続して起こりました。結局、すぐにエジプト人が屈服しました。

自由を得たイスラエルの民をモーセが、導きで行く途中紅海の前に着きました。これ以上進むことができなくて天幕を張って留まりました。このような状況の情報を入手したパロ王が心変わりして軍隊を率いて追撃しました。ジレマに直面している人々は絶望して、モーセを恨みました。しかし、モーセは、神が力を現すことを信じていました。モーセが神の指示どおりに杖を持って手を伸ばして命令すると、紅海が割れました。海の中に道が見えたので民が無事に渡りました。これを見たエジプト軍が追いかけ入ったが海が、また合致したので、すべてが沈みました。モーセはイスラエルの民を荒野に導きながら困難が迫って来るたびに、神様が力を示していただけるように求めて問題を解決をしました。モーセは、神が恵みで与えられる力を積極的に求め、その力の表示されるの味わいました。

第三に、神が私たちに恵みとして下さっものの中の神の言約があります。その言約を味わうべきです。

ヨシュアがカナンの地を占領して民に分配し始めたとき、カレブがヨシュアに来て言いました。

「あなたは、主がカデシュ・バルネアで、神の人モーセが出て、あなたに対して言われたことを知っておられます。...その日、モーセがそう誓って自分の足で踏む地は永遠にあなたとあなたの子孫の相続になるはずだから、これはエホバ神を完全に従ったからだとしました。今見てください。主はこの言葉をモーセに言われた時から、イスラエルが荒野に過ごしてきた、その四十五年の間に、主が言われたよう私を生存させました

私が今日八十五歳だが、モーセが私を送った日のように、今日もまだ丈夫で、戦争や出入りするのに私の力が、その時や今や相変わらずので今、主はその日に、私に言われたように産地を私にください。そこにはアナク人がおり、その町は大きく頑丈であることも、その日に聞いたが、主が私と一緒にすると、主が言われたとおり、私はそれらを追い出すことができます。〃

カレブの話を聞いたヨシュアがカレブをために祝福し、ヘブロンを彼に企業に与えました。他の人々は、各部族の各家族に沿って分配してくれた土地を受けた、カレブはヘブロン全体を丸ごと自分のものにしました。その年齢八十五歳なのに、彼は神の約束を握り、ひいてその地を占領しました。だからヘブロンはカレブの所有となった

聖徒の皆さんは、聖書に記録された、神の約束があなたに与えられたものであることに記憶してください。主を喜ぶという言葉は、神によって喜ぶことです。神によって喜ぶという言葉には、神が私たちに恵みとして下さっことを知って、これを享受できるという意味があります。神の愛、神の力、神の約束は、神が私たちに恵みとして下さったものです

第四は、すべてのことを神に委ね、神に頼るとしました。

「あなたの 道を 主にゆだねよ．主に 信頼せよ，主はそれをなしとげ」（詩篇 37：5）としました。主に任せて頼れば、平安が臨むようになります。祈って神様に任せておけば、神の責任で完成していただきます

第五は、主の前に静かで我慢してお待ちなさいしました。

主の前で静かにするという言葉は神の前にふさわしくない言葉や信仰のない言葉をしないという意味です。主の前に我慢して待つという言葉はあきらめるではありません。神を待ち望むし待つという意味です。

今日の本文には、悪を行なう者や不義を行う者が栄えて繁栄する現実を聖徒たちが正しく理解し、克服する信仰的対応方法を教えました。消極的な対応方法としては、悪を図る者によって神に不平を言わないようにします。不義を行う者をねたみしないでください。聖なる怒りではなく、私的な怒りは自制して捨てます。積極的な対応方法としては、神を依頼して、善を行い、神の言葉を糧食にして、神を喜び、神に任せ頼っており、神の前に静かで我慢して待ちします。あなたはこれらの規則を実践するので、神があなたが正しいことを正午の光のように明らかにしていただきます。